

2016 鈴鹿8時間耐久ロードレース

Result

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
2'09.774	9	214	8:02'36.027	4Laps	2'11.147	5位

Setting Data

日付	2016年7月31日(日)		時間	11:30 ~ 19:30		イベント	"Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L6		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno Joshua Waters 青木宣篤 Nobuatsu Aoki	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	32.1 °C		
	コンディション	DRY			気圧	1015 hpa		
	路面温度	56 °C	(計測時間 11:00)		湿度	54 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	SUNOCO REDFOX 10W-40		
	ファイナルレシオ	16 × 44 (2.75)			チェーンリンク数	RK 525HRV4	118	リンク
トランスミッション	1st	B (35/16)	2.18		4th	B (31/21)	1.48	
	2nd	B (34/18)	1.89		5th	B (21/28)	1.33	
	3rd	B (36/22)	1.64		6th	B (26/21)	1.24	
フロント	パーツ名	OHLINS FGR200(750mm)			TEN	-18 段		
	スプリング	9.75 N/m			OIL	—		
	トップアウトスプリング	1	N/mm	135 mm	油面	280 mm		
	イニシャル	11 mm			残ストローク	— mm		
	COMP	-18 段			突き出し	— mm		
リア	パーツ名	OHLINS TTX(370mm)			リンク	SPL		
	スプリング	93.1 N/m			リンクロッド	— mm		
	トップアウトスプリング	125	N/mm	8 mm	車高	STD+ 21 mm		
	イニシャル	12 mm			ピボット位置	-4 mm		
	COMP	-13 段			スイング長	608 mm		
	TEN	-10 段			残ストローク	— mm		
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ブリヂストン			銘柄	ブリヂストン		
	サイズ	120/60R17			サイズ	190/65/17		
	エア圧	1.8			エア圧	1.4		
チェック	順位	5 位		ベストラップ	2'09"331(今野選手) 2'09"227(Joshua選手) 2'10"683(青木選手)			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
OUT		-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様こんにちは！  
 このあいだ8耐が終わったと思ったのに……。もう8耐が始まってしまいました！  
 今年は昨年に引き続き青木宣篤選手、前半からペアを組んできたJoshua Waters選手とともに戦います！  
 ジョシュとのコミュニケーションも段々と取れてきているのでチームの雰囲気はかなり良いです。  
 またライダーの身の回りの世話を青木選手の奥さんが担ってくれるのでチームの負担がかなり少なくて助かります。  
 二回の事前テストも精力的に周回を重ねて燃費や走行データを積み重ねていきます。  
 昨年からの8耐を見据えてタイヤ開発を続けてきたのでライダー、メカともに進化を体感しながらセットを進めていきます。  
 事前テストから天候もよく、路面温度も本番に近いくらいまで上がりました。  
 ライダー三人とも昨年を上回るペースで周回できていたのでレースが非常に楽しみです。  
 さてレースウィークを迎えた初日。新しいタイヤの確認をしていきます。少ない走行時間でライダー三人のコメントを取らなければなりません。データを確認しつつコメントと照らし合わせる作業が続きます。  
 決勝を戦うタイヤを決め金曜日。予選の前に2時間！のフリー走行があります。(予選前はそんなに走行イライナイです。。)  
 まだフロントタイヤの種類を決めかねていたのここで確認しておきます。  
 さあ予選第一ライダーはジョシュ選手から新品タイヤでアタック！2'09"227でした！タイヤ本数制限もありそのままの中古で第二ライダーの青木選手がスタートします。2'10"683を記録。今野選手も中古でアタックして計測一周目で赤旗が出る前に2'10"130を計測して終了。二回目の予選に全てをかけます！  
 その後路面温度が上がり各セッションでタイムを更新しないで二回目の第3ライダー枠で今野選手がアタックし2'09"331をだしましたが午前中のジョシュのタイムがわずかに速くて総合9番手。土曜日のTOP10トライアルの出場も決まりました。TOP10トライアルでも頑張りましたが予選のタイムを更新できず9番手からスタートです。  
 明けて決勝日。天気もよく路面温度も上がっていい感じのコンディションです。  
 スタートライダーは今野選手。スタート直後12位くらいに順位を下げましたが徐々にポジションを上げていきます。  
 今年は開幕戦から「SPECIAL AGENT」さんにご協力をお願いし、昨年決勝でとても必要性を感じた燃料計測システムを作り上げていただきました。このシステムのおかげで第一ステントをギリギリの周回数まで攻めることが出来ました。  
 レースはジョシュに交替して、かなりいいペースでラップを重ねます。さらに青木選手も淡々と周回を重ねていきます。  
 その後ピット作業も大きなミスなくレースは進みライダーは目の前にいる5番手争いに勝ち後続を引き離していきます。  
 4位まであと12秒と言うところでチェッカーが出て八時間が終了しました。  
 結果は5位。214周を周回できました。  
 応援していただいた皆様のおかげで5位入賞できました。  
 さらにご協力ご支援いただきました各企業様にお礼申し上げます。ありがとうございました。  
 次回は全日本選手権IN岡山国際サーキットです。  
 皆様とお会いできるのを楽しみにしています！

Sサプライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。  
 S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>  
 S SUPPLY twitter @SSUPPLY\_

(株)Sサプライ  
 畑中 健太郎